社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 広報誌
笑顔あふれる支え合いのまち なは

この広報誌は、共同募金の配分並びに皆様からの社協会員会費により作成されています。

No.214　令和7（2025）年

なは社協だより 10

赤い羽根共同募金運動 始まる

10月1日～3月31日

10月1日～31日はボランティアによる
街頭募金も実施されます。
さまざまな寄附を通じた皆様の
温かいご支援をお願いいたします。

共同募金シンボルキャラクター
「愛ちゃんと希望くん」

もくじ

赤い羽根共同募金　始まる …… 1
共同募金
じぶんの町をよくするしくみ …… 2・3
ふれデイリポート …… 4
切手がつなぐ支援の輪 …… 5
資金造成タオル販売 …… 6
訪問B講座　受講者募集 …… 6
ファミサポ　料金改定 …… 7
寄附御芳名／寄贈一覧／Vbox …… 8

那覇市社会福祉協議会
https://www.nahasyakyo.org

じぶんの町をよくするしくみ

赤い羽根共同募金は、戦後からその時代の人々の生活の困りごとに合わせて使われ、現在は「人と人とのつながり」を守るために活用されています。高齢や貧困、障がいなど様々な生活課題による「孤立」をなくし、誰もが安心して生活できるよう取り組んでい る福祉団体や活動に助成金を配分し、サポートしています。皆様のご寄附が、地域の活動、活動している人、参加している人を支えています。

こんにちは、赤羽根家 です。

赤羽根家の暮らしから、那覇市での共同募金の使われ方を紹介します。

貴さん（38）
（安子さん夫婦の息子）

交通事故をきっかけに車いす生活に。通うようになった福祉施設で、いまは事務の仕事をしている。

あかねさん（36）
（貴さんの妻）

フルタイムで働く保育士さん。休日はこども食堂のスタッフをすることも。

ねねちゃん（4）
（貴さん夫婦の娘）

かいくん（1）
（貴さん夫婦の息子）

お母さんと一緒に子育てサロンに行ったり、子ども食堂に行ったり、地域に友達がたくさん。

安子さん（63）

赤い羽根の助成のことを知り、今では自分も高齢者向けのさまざまな活動に参加するように。手芸友達とのお茶会が毎週の楽しみ。

心之助さん（71）
（安子さんの夫）

軽度の認知症を発症し、自宅で介護を受けながらも週末は地域の環境美化のため活動している。

共同募金
特設サイト

福祉の学びを支援

福祉（ふだんのくらしのしあわせ）の活動を学び、高齢者や障がいのある方への理解を深め、思いやりの気持ちを育みます。

盲導犬ユーザーによる講話

車いす体験

地域見守り活動への助成

独居高齢者宅や高齢世帯などにお弁当やティッシュを配って会話を交わしながら、様子を見守ります。小学校の下校時間帯の見守り活動などを行う団体へも助成をしています。

居場所づくり（サロン、こども食堂）

趣味や運動、ゆんたくなどを通して、気軽にご近所付き合いを広げられるサロン活動にも助成をしています。

作品作り

男性の料理教室

地域の活性化・交流のために

自治会や福祉団体が行う祭りやピクニックなどのイベントや活動に助成して、多世代交流や地域活性化を応援しています。

地域夏祭り

緊急医療情報キット

健康上に不安を抱える高齢者や障がい者が緊急連絡先などを容器に入れ冷蔵庫に保管し、緊急時に救急隊が確認し、搬送します。

自分が今、支援を必要としていなくても、ご家族 や友人、ご近所の方など誰かの役に立っている。
支える人を支える募金。それ が「赤い羽根共同募金」です。

スマホからも
↓募金できます↓

【ふれデイ新規開所】 石嶺モミジ会

かつてはサークル活動が活発だった石嶺４丁目の地域。コロナ禍以降は途絶えていたが、「地域に以前のような通いの場がほしい」という住民の要望を受け、当時のサークル名を冠したふれデイ「石嶺モミジ会」(毎週水曜日10時～)がスタート。

開所を決めた石嶺みのり自治会の島袋自治会長は、「せっかく自治会集会所があるのだから、大いに活用してほしい」と挨拶。参加者らは「盛り上げるためにも、参加することが大切」と賑やかに過ごしていた。

石嶺モミジ会では運営ボランティア（65才以下も可）も募集している。活動日に直接訪問するか、098-857-7766ふれデイ（那覇市社協内）まで。(担当：上原かおり)

看護学生による保健講話実習

市内2か所のふれデイで、沖縄県立看護大学の保健師を目指す学生達が保健講話を行いました。模造紙いっぱいに描かれた図を指しながら、『高血圧対策として運動の効果』を、わかりやすく説明していました。後半は椅子に座ったままでできる体操も一緒に実践。会場には笑顔が広がり、和やかな雰囲気に包まれました。最後には、「将来はお世話になるからよろしくね～、頑張ってよ～」と参加者から温かい声をいただきました。

学生達は、「皆さん質問が多く健康意識が高くてびっくりしました!」と、ふれデイ参加者の意欲に感激した様子でした。(担当：上江洌ゆかり)

みんなで踊ろうプロジェクト♪動画できました

ふれデイでは、歌って踊れる楽しいダンスを制作しました。きっかけは、シニアのコーラスグループ「ワンボイス」からの「地域の方とコラボして【音健アワード2025】にエントリーしたい!」という熱い呼びかけです。4歳から90代までの幅広い世代が参加!理学療法士監修の振り付けに、最初は「できないさ～!」と不安げだった方も、周囲の笑顔と音楽の力に背中を押され、最終的にはあふれる笑顔で元気いっぱいに踊る姿が見られ、良い作品に仕上がりました。発表は10月中旬予定で、受賞の際には改めてご報告いたします!

ダンスはYouTubeで公開中♪音楽と踊りを楽しむ介護予防ダンスを、他のふれデイやこども達など世代を超えてつながり、地域に届けます!(担当：野元)

那覇市社協の
YouTubeチャンネルは
こちら▶

「好きに生きるさ写真展」ボランティア

8月1日(金)から3日(日)までの3日間、「好きに生きるさ写真展」が開催されました。主催は、脳性まひによる重度障がいを抱えながら、那覇市内で自立した生活を送る友利利幸さん。写真を撮ることをライフワークとしており、今回、その写真をより多くの方に見てもらいたいという思いから写真展を企画しました。

写真展には491名が来場し、電動車いすの目線から切り取った日常の風景に足を止め、写真に込められた思いに魅了されていました。会場設営ボランティアと受付ボランティアに3日間で22名のボランティアが参加し、友利さんと一緒に展示の見やすさを工夫しながら、笑顔で活動する姿が印象的でした。

あなたも、誰かの「好きに生きる」活動を支えるボランティアに参加してみませんか？(担当：青木)

切手がつなぐ支援の輪―地域とともに広がるボランティア活動

ボランティアBOXには、年間で数千枚もの使用済み切手が集まります。その切手をコレクター向けに仕分け、換金し、福祉活動の支援に役立てています。本会には多くの切手が寄せられており、毎週火曜日の午後1時30分から4時まで、切手ボランティアの皆さんが集まり、形を整えたり、汚れや破れなどがあるものを選別したりしています。使用済み切手の仕分けには細やかな確認作業が欠かせません。毎週参加している比嘉さんは、「集まって話すのが楽しみになっている」と語り、活動を通じて生まれた仲間との交流を大切にしています。

また、企業の社会貢献の一環として昨年に続き、ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城のスタッフ10名の皆さんが仕分け作業にご協力くださいました。同ホテルにはボランティアBOXの設置にもご協力いただいており、参加されたスタッフの方々は集めた切手が支援につながる仕組みを知ることで、活動の意義を深く感じていただけたようです。

切手を通じて広がる支援の輪。これからも多くの方々とともに、地域を支える力となれるよう、私たちは活動を続けてまいります。(担当：青木)

社協応援の資金造成タオルを販売　那覇商工会議所青年部

　那覇商工会議所青年部（宮城充会長）が、那覇市の福祉のまちづくりを応援する資金造成のタオル販売に取り組んでいます。経費を除いた売り上げを那覇市社協へ寄付する予定です。
　タオルは、那覇市社協とコラボしたオリジナルのデザインで500枚製作。ボランティアにも協力してもらいながら封詰め作業なども進めました。プロジェクトを担う地域活性化委員会の下地ななえ委員長は「令和3年に那覇市社協とパートナーシップを結んでいる。こども、高齢者、障がい者を支えていくためにも、資金面でも応援してきたい」と思いを語ってくれました。（担当：浦崎）

那覇市からこどもの居場所にアルファ化米を寄贈

　８月６日(水)、那覇市防災危機管理課より防災備蓄食のアルファ化米が寄贈されました。夏休み期間中のこどもたちや物価高騰で食生活に影響を受けている世帯への支援に活用することを目指して、当初の入替周期よりも前倒しすることで調整が行われ、実現しました。
　アルファ化米は、炊飯した米を急速乾燥させた非常食で、お湯や水を加えるだけで、火や特別な器具を使わずに炊きたてのようなおいしいご飯を食べることができます。
　贈呈式に参加したこどもの居場所運営者からは「この機会にアルファ化米を使ってこどもたちと防災学習に取り組みたい」、「夏休み期間中に学校給食がなくなるこどもたちの食の支えになる」などの感謝の言葉が寄せられました。（担当：外間）

参加された居場所運営者、那覇市、那覇市社協のみなさん

高齢者の生活を支える生活支援サポーター養成講座開催！（ご案内）

　那覇市内の高齢者を対象とした、お掃除やお買物など30分～1時間程度の家事をお手伝いする「生活支援サポーター」の養成講座を開催します！
　本講座の対象は18歳以上の方で、平日に市内でサポーター活動ができる方となり、活動内容によって1回の活動で500円～700円の活動費を支給します。
　ご興味がある方は、ぜひお問い合わせください。（担当：武川）

開 催 日：11月14日（金）14時～15時30分（受付：13時45分）
受 講 料：**無料**
会　　場：ともかぜ振興会館2階　研修室（那覇市金城3-5-3）
申込期限：**11月10日（月）まで**
申込方法：お電話またはGoogleフォーム（二次元コード）
電　　話：098-857-7766　担当：武川・神田

申し込み用二次元コード
こちらからもお申込できます▶

那覇市ファミリー・サポート・センター料金改定のお知らせ

　2003年に現在の識名児童館から出発したファミリー・サポート・センターは令和7年で22年目を迎えています。開設以来、報酬は変わらず活動を続けてきました。しかしながら、ガソリンや物価高騰、最低賃金の引き上げなど、協力会員の皆様の生活を取り巻く環境も大きく変化しています。一方で担い手不足などの課題もあり、今回、**令和8年度（2026年）4月より**料金（報酬）の改定を行うことになりました。これからも那覇市民の子育て支援の一翼を担っていくためにご理解の程お願い申し上げます。

新料金（報酬）

活動内容	曜日	利用時間	報酬基準額（1時間あたり）	備考
基本活動	月～土曜日（祝日等除く）	7:00～19:00	¥900	基本時間
		上記以外	¥1,000	基本時間外
	日曜日・祝日等	一律	¥1,000	日曜日・祝日 年末12月29日～年始1月3日
病児・病後児の預かり	月～土曜日（祝日等除く）	7:00～19:00	¥1,000	基本時間
		上記以外	¥1,100	基本時間外
	日曜日・祝日等	一律	¥1,100	日曜日・祝日 年末12月29日～年始1月3日

※宿泊のサポートについては、センター（098-857-8991）に直接ご相談ください。※サポート料金のお支払いは現状では現金のみになっております。

なは社協 相談窓口のご案内

ふれあい福祉相談室　☎ 857-7780

生活上の心配ごと、悩みごと、どのようなことでも気軽に相談できる一般相談・司法書士専門相談・弁護士専門相談があります。
（秘密は厳守で相談は無料です）

生活福祉資金貸付事業　低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者の属する世帯に対する資金貸付

司法書士専門相談　毎月　第２金曜日 / 14～16時　予約制
弁護士専門相談　奇数月 第４金曜日 / 14～16時　予約制

ボランティア活動・行事用保険　☎ 857-7766

ボランティア活動・行事用保険は、ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償を補償します。

デイサービスあしびなー　☎ 080-1739-1355

利用者の方々が住み慣れた地域から通い、日々、生きがいのもてる暮らしを応援し、ご家族の身体的、精神的な負担を軽減します。

那覇市ピアサポート事業「ゆんたく相談室」

ピアサポーター（障がい者相談員）によるゆんたく・相談
①:毎週水曜日:13～15時　対象:視覚障がい者
②:毎週木曜日:14～16時　対象:精神障がい、知的障がい、身体障がいなど

日常生活自立支援事業　☎ 857-4525　FAX.857-6052

地域福祉権利擁護センター

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで、自分で判断することが難しい方々の福祉サービスの利用手続きや、医療費・公共料金の支払い等の日常的な金銭管理のお手伝い、書類の預かりサービスを契約に基づいて行っています。

居宅介護支援事業　☎ 891-8236　FAX.859-8388

安心して在宅生活が営めるように、家族、医療、介護保険サービス事業所等と連携を図ると共に、社会資源を活用しながら支援を行ないます。

ホームヘルプステーションわかば　☎ 859-8383　FAX.859-8388

ご自宅に介護専門職が訪問し、身体介護及び生活支援サービスを提供します。

- 訪問介護
- 総合事業
- 障がい福祉サービス

広告

社会福祉法人
那覇市社会福祉協議会
発行／〒901-0155 那覇市金城3-5-4 TEL.098-857-7766 FAX.098-857-6052
〈E-mail〉info@nahasyakyo.org
〈URL〉https://www.nahasyakyo.org

8月の寄附や寄贈の贈呈式の様子(順不同)

寄附

三和金属株式会社様

渡久地商店様

物資寄贈

上原公徳様

那覇市倫理法人会様

ボランティアBOX

株式会社オカノ様

たくさんのご支援、
ありがとう
ございました♪

寄附者ご芳名(敬称略)

令和7年8月
840,378円

一般寄附

三和金属(株)、税理士法人那覇中央会計、川満正人、小野建沖縄(株)中部センター、小野建沖縄(株)西崎センター、沖縄看護専門学校、クラウドライク(株)、手塚謙次、渡久地商店、米内山まり

香典返し

仲里政範

おきぎんSmart

・ちばりよーな～ふぁ募金　7件
6,700円

令和7年度4～8月
寄附金総額
6,659,298円

寄贈者ご芳名(敬称略)

令和7年8月
58件　2,041.3㎏

物資寄贈(8月)

上原公徳、小規模多機能ホーム はれる家(嶺井宏治)、イオン琉球(株)イオン那覇店、那覇市倫理法人会、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ、株式会社照屋食品、那覇青果物卸商事業協同組合、有限会社サニー沖縄、ケンタッキーフライドチキン小禄店(株式会社リウエン商事)、ケンタッキーフライドチキン壺川店(テラスホテルズ)、那覇市総務部防災危機管理課、株式会社クリア、合資会社富士物産、匿名(県内、県外)

フードドライブ連携

市内の郵便局窓口37か所、沖縄ファミリーマート31店舗、リウボウストア7店舗、石嶺公民館と、物資を寄贈いただいた皆さま

令和7年度4～8月
寄贈総計
288件　7,512.4㎏

ボランティアBOX 取組個人団体紹介(敬称略)

那覇中央郵便局、ひまわり水曜会、真和志支所、小禄南公民館、株式会社　クラブメソッド、株式会社　国際重機、イオン琉球株式会社　イオン那覇店、おきなわ法律事務所、匿名希望

「もったいない」を「ありがとう」に変える

フードドライブ

ご家庭で、使いきれずに保管したままになっている「もったいない食品」などを、那覇市内の郵便局窓口やファミリーマート(一部店舗)、リウボウストア、石嶺公民館にある「フードボックス」へ寄贈ください！

那覇市内にある子どもの居場所や生活困窮世帯などでおいしい食事として活かされます。

ご寄附いただきたい食品　※保存がきくもの(アルコールは不可)

お米・粉もの・缶詰・レトルト食品・インスタントラーメン
等の乾麺・お菓子・缶やペットボトルに入った飲料など

寄附食品の条件

- ●未開封の食品
  (包装や外装が破損していないこと、中身に異常がないもの)
- ●賞味期限が1か月以上残っている食品
  (賞味期限が明記されているもの)
- ●常温で保存が可能な食品
- ●製造者名が記載されている食品
- ●お米は精米日から一年以内のもの

※お寄せいただいた食品について、腐敗等、使用に適さないと判断した場合には、処分させていただくことがありますのでご了承ください。

(担当：地域福祉課)

※那覇市社会福祉協議会が実施する事業及び福祉サービスにおいては、個人情報保護規定を定め、個人情報の種類・利用の目的・提供方法について、適法かつ適正な方法で対応いたします。

那覇市社協のHPやSNSでも情報発信しています。
過去のなは社協だよりもアーカイブからご覧になれます。

なは社協だより
アーカイブ

GREEN PRINTING JFPI
P-B10269
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

FSC www.fsc.org
ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C166756